

1 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、県民の健康状態、栄養摂取状況の把握、生活習慣病と関連の深い肥満及び各世代の食生活における問題点の把握を行い、栄養と健康の関係を明らかにし、今後の食生活改善のあり方と健康増進対策に必要な基礎資料とする。

また、令和5年度に終期を迎える長崎県健康増進計画「健康ながさき21(第2次)」の評価並びに次期計画策定のための基礎数値を得ることを目的とする。

2. 調査対象及び客体

(1) 調査対象

- ・身体状況・食習慣調査
：県内に居住し、令和3年11月1日現在で20歳以上の男女
- ・栄養摂取状況調査(BDHQ)
：上記の内、20～69歳の男女

(2) 調査客体

平成27年国勢調査の調査地区から無作為抽出した27地区に居住する住民

- ・身体状況・食習慣調査：3,000人
- ・栄養摂取状況調査(BDHQ)：2,350人

表1 圏域別調査地区数

圏域名	市町名及び単位区数			圏域名	市町名及び単位区数		
長崎	長崎市	6	8	県北	平戸市	1	2
	長与町	1			佐々町	1	
	時津町	1		五島	五島市	1	1
佐世保	佐世保市	7	7	上五島	新上五島町	1	1
県央	諫早市	1	3	壱岐	壱岐市	1	1
	大村市	1		対馬	対馬市	1	1
	東彼杵町	1					
県南	島原市	2	3				
	雲仙市	1					

3. 調査票回収状況

調査対象のうち、調査協力者数及び分析対象者数は表2～4のとおりである。

表2 対象者数（年齢階級別）

	総数	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
(人)								
<身体状況・食習慣調査>								
総数	1,255	119	148	175	245	279	207	82
男性	561	49	62	79	101	137	93	40
女性	694	70	86	96	144	142	114	42
<栄養摂取状況調査>								
総数	955	117	143	182	247	266		
男性	422	48	60	80	107	127		
女性	533	69	83	102	140	139		

表3 BDHQの分析対象者

	総数	男性	女性
(人)			
総数	952	419	533
20-29歳	117	49	68
30-39歳	144	60	84
40-49歳	180	78	102
50-59歳	245	105	140
60-69歳	266	127	139

表4 地域ブロック別の年齢階級別対象者数

	総数	A地区	B地区	C地区	D地区	
(人)						
総数	総数	952	717	119	65	51
	20-29歳	117	91	16	9	1
	30-39歳	144	125	13	5	1
	40-49歳	180	138	19	11	12
	50-59歳	245	184	31	16	14
	60-69歳	266	179	40	24	23
男性	総数	419	318	45	28	28
	20-29歳	49	38	7	3	1
	30-39歳	60	54	2	3	1
	40-49歳	78	60	6	5	7
	50-59歳	105	75	14	8	8
	60-69歳	127	91	16	9	11
女性	総数	533	399	74	37	23
	20-29歳	68	53	9	6	0
	30-39歳	84	71	11	2	0
	40-49歳	102	78	13	6	5
	50-59歳	140	109	17	8	6
	60-69歳	139	88	24	15	12

A地区：長崎市、佐世保市、長与町、時津町、諫早市、大村市、島原市

B地区：西海市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、雲仙市、南島原市、平戸市、松浦市、佐々町

C地区：五島市、新上五島町、小値賀町

D地区：壱岐市、対馬市

4 . 調査項目及び方法

本調査は、身体状況・食習慣調査及び栄養摂取状況調査（簡易型自記式食事歴法質問票（以下、BDHQ））から成り、各調査票の調査項目は以下のとおりである。

（ 1 ）身体状況・食習慣調査

- ア）身長・体重（現在の状況について自己申告）
- イ）腹囲・血圧（1年以内の健診結果から転記）
- ウ）服薬状況
- エ）糖尿病に関する状況
- オ）生活習慣における新型コロナウイルスの影響
- カ）食生活に関する意識・行動
- キ）災害時非常食の備蓄状況
- ク）健康づくり応援の店の認知状況

（ 2 ）栄養摂取状況調査（BDHQ）

- ア）過去1か月間の食品別摂取頻度（乳類、肉類、魚介類、野菜類、果物、菓子類、麺類、嗜好飲料等）
- イ）平均的な1日の摂取量（ごはん、みそ汁、お酒等）
- ウ）過去1か月間の料理別摂取頻度（肉料理、魚料理）
- エ）調味料の使用状況
- オ）普段食べる量、食べる速さ

5 . 調査時期

令和3年11月～12月

6 . 調査方法

郵送による配布・回収を行い、期日までに回答がなかった対象者には、はがき送付により再度の提出を依頼した。

7 . 調査の機関と組織

- （ 1 ）福祉保健部（国保・健康増進課）が、健康ながさき21推進会議小委員会の意見を参考に企画立案を行い、長崎国際大学の協力を得て実施した。
- （ 2 ）調査対象者の抽出は調査地区を管轄する県立保健所が行い、長崎市・佐世保市については両市の協力を得て実施した。
- （ 3 ）本調査の集計・解析は、長崎国際大学の協力を得て実施した。